

こいた 小板まきばの里通信Vol 9.1

～春本番の植物や生き物を探してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で春の植物を探索しよう！

ウグイスカグラ カキドオシ ショウジョウバカマ ムシカリ ミヤマシキミ シハイスミレ アセビ

コバノ ミツバツツジ ミヤマカタバミ イカリソウの葉 (花は5月) ヤマザクラ ミツバツツグリ タチツボスミレ

■里山の自然観察 ～春本番の植物や生き物を探してみよう～

4月半ばを過ぎると、あちらこちらでヤマザクラが咲き始め、標高750mの山里もようやく春本番を迎えます。道端には黄色く目立つタンポポの他に、白いタネツケバナやハコベ、水色のオオイヌフグリ、薄紫のタチツボスミレなどのよく見ないと見過ごしてしまう程小さな花々を見つけることができます。水たまりではまだ寒いうちに産み付けられたヤマアカガエルの卵から孵ったたくさんのおたまじゃくしが元気に泳いでいます。そして耳をすませると、巣づくり間近のキセキレイの「チチンチチン」という声や、ひょうたん山で縄張りを主張するゴジュウカラの「フィフィフィ」という声が聞こえてきます。春本番の山里を彩る植物や生き物たちを探してみましよう。